書籍『国難の正体一日本が生き残るための「世界史」』(馬渕睦夫著)の増刷決定をリリース(出版社総和社)

書籍『国難の正体一日本が生き残るための「世界史」』(馬渕睦夫著)の増刷決定(株式会社総和社)

- ●書籍定価 1575円
- ●四六判296ページ

ネットでの討論番組出演や渡部昇一先生と対談番組の反響により、アマゾンを中心としたネット 書店でブレイク(アマゾンベストセラーランキング1位「世界史一般」「外交・国際関係」部門)につき、平成25年5月28日に増刷を決定しました。

---■ 『国難の正体』の内容ををこっそり紹介 ■---

■戦後世界史の謎■

- ◎東西冷戦は作られた構造だった
- ◎なぜ毛沢東の弱小共産党が中国で権力を握れたのか
- ◎朝鮮戦争でマッカーサーが解任された本当の理由
- ◎アメリカはベトナム戦争に負けなければならなかった
- ◎なぜかアメリカ軍占領後アフガニスタンで麻薬生産が増大した
- ◎「中東の春」運動を指導するアメリカのNGO

6月も馬渕先生の講演会や雑誌インタビュー、ネット番組出演が目白押し

『国難の正体――日本が生き残るための「世界史」』(馬渕睦夫) 出版社 総和社 書籍

http://www.sowa.ne.jp/

2013/5/28

株式会社総和社(本社:東京都新宿区、代表取締役 竹下武志 http://www.sowa.ne.jp/)は書籍『国難の正体――日本が生き残るための「世界史」』の増刷を決定いたしました。

■目次

◎はじめに

◆第一章 戦後「世界史」の正体 ◎冷戦は八百長だった

モスクワの実態/アメリカを支配するイギリス/作られた超大国ソ連の虚像/

グロムイコが高く評価したアメリカ人(ヘンリー・キッシンジャー、アベレル・ハリマン)/ソ連はなぜ崩壊したか ◎中華人民共和国建国の謎

マーシャルをほめるグロムイコ/マッカーシーから見たマーシャル/

アメリカと毛沢東/ベトナム戦争以後の米中関係/日中戦争の後日談 ◎朝鮮戦争の謎

なぜアメリカは勝とうとしなかったか/マッカーサー証言の真相/

ソ連はアメリカに協力した/スターリンの死 ◎ベトナム戦争の謎

長引かせた戦争/米ソの意図を見抜いていた中国/中ソはなぜ対立したのか/

アメリカとの核戦争を想定していた毛沢東/ベトナム戦争後、アメリカに麻薬禍が蔓延

- ◎第四次中東戦争と石油危機の謎 キッシンジャーの策略/石油危機を演出 ◎湾岸戦争の謎
- フセインはなぜクウェートに侵攻したのか/湾岸戦争の隠れた目的/コソボはなぜ独立したのか
- ◎アフガニスタン戦争の謎 「テロとの戦い」の危険/麻薬生産が増大
- ◎イラク戦争、東欧のカラー革命、「中東の春」現象の謎

やはり石油が目的だった/アメリカのNGOが関与していた/「中東の春」を恐れる中国・ロシア

◆第二章 超大国「アメリカ」の正体

- ◎アメリカの世界戦略は誰が決めているか
- CFRの創立メンバー/ニクソンの失脚の原因/アメリカの軍事戦略もイギリスの影響下にある /グロムイコもイギリスとアメリカの一体性を認識していた
- ◎イギリス金融資本家の軍門に下ったアメリカ

独立後すぐ始まった中央銀行設立論争/リンカーン大統領暗殺の真相/アメリカの金融が民間銀行の支配に落ちた日/連邦準備制度の罠/国際銀行家とは何か

◎アメリカの大富豪は「共産主義者」である

国民のチェックが及ばない社会/なぜ国際主義思想が生まれたか/日露戦争と国際銀行家/ナショナリズムは本当に危険なのか/反セム主義とは何か/マイノリティとしてのユダヤ人

◎「アメリカ人」のいないアメリカ

グローバリズムの正体/アメリカのグローバル戦略/もはや「アメリカ人」は存在しない

◆第三章 日本「国難」の正体

◎アメリカは占領時代に日本に何をしたか

日本のナショナリズムを破壊せよ/原爆は破壊の悪魔である/秘密裏に行われた検閲/

検閲官と非検閲者は共犯関係にあった/田母神事件の教訓/

シビリアンコントロールとは何か/国民が完璧に洗脳された理由/

分割統治の鉄則が戦後隣国との紛争関係の仕組みを作った(北方領土・竹島・尖閣諸島)

◎冷戦終了後日本がアメリカの「仮想敵国」になった

ブレジンスキーの日本観/ブレジンスキーの世界観 ◎現在進行中のアイデンティティ破壊工作 ジェンダーフリーこそ大問題/日本語が危ない/

構造改革路線の本当の目的/TPPの隠された目的/

大量移民受け入れによる日本人種の雑種化/韓流ブームはなぜ起ったか/

人権侵害救済法案は「ヘイト・クライム」の導入を企図したもの/次は麻薬の合法化

◎ウクライナ大飢饉の教訓 民主主義は幻想/選挙で当選しても借金から逃れられない/

マスメディアなどが情報操作によって国民を洗脳している/ False

Flag作戦という戦慄すべき情報操作/世界は「金」と「情報」で支配されている

◆第四章 明日の日本の生きる道

◎日本型民主政治の再生

権力と権威のバランス/チェルノブイリ事故の教訓/新しい「国体論」はどうあるべきか

◎日本外交の新境地

市場経済化に失敗したロシア/米露新冷戦の開始/プーチン大統領は本当の親日家/

新「日露協商」構想/

ロシアが日本の信頼しうるパートナーになりうる理由(・ロシア人と日本人の国土観の類似性

・ロシア正教と日本人の宗教感情との親和性・国民性の類似) / ドストエフスキーと芥川龍之介

◎グローバリズムを阻止する方法 ◎究極の日本中立化構想

□■□■□■□株式会社総和社【「旬」な1冊】書籍ニュース□■□■□■□

◆「旬」な1冊

1低学歴・低収入2オタク3ひきこもり4童貞というネガティブイメージに加え、『ネットと愛国』(安田浩一著)により5過激な排外主義者というイメージが定着した「ネット右翼」。だが、本当にそんな最低最悪なマンガみたいなヤツがいるのか?

「ネトウヨ」(サヨクから見れば)約千人にアンケート調査・取材をした著者がその実態に迫り、 過剰なレッテル社会が歪める「ネトウヨ」問題のもうひとつの闇(日本人差別、反日メディア)を 逆照射する。

『ネット右翼の逆襲-「嫌韓」思想と新保守論』(古谷経衡 著)

−■当プレスに関するお問い合わせ先───

社 名 : 株式会社総和社

U R L : http://www.sowa.ne.jp/

所 在 地 : 〒150-0002 東京都新宿区4 コトブキビル 7階

T E L : 03-3235-9381

代表者: 竹下武志

MAIL: info@sowa.ne.jp

担 当 者 : 佐藤春生

担 当 者ツイッター: https://twitter.com/sowasha

Generated by ぷれりりプレスリリース

https://www.prerele.com